

忙しい上司ほど、さらに忙しくなる理由

技術系職場で起きる

「任せても戻る」負のループを整理

上司が出した“答え”が、

部下の考えを狭め、

上司に仕事を戻しているのかもしれない

ThinkDoor 無料資料

この資料で分かること

この資料では、技術系職場で上司に仕事が戻ってしまう構造を、3つの視点で整理します。

1

上司目線の負のループ

2

上司自身にも表れる技術者特性

3

部下目線の負のループ

4

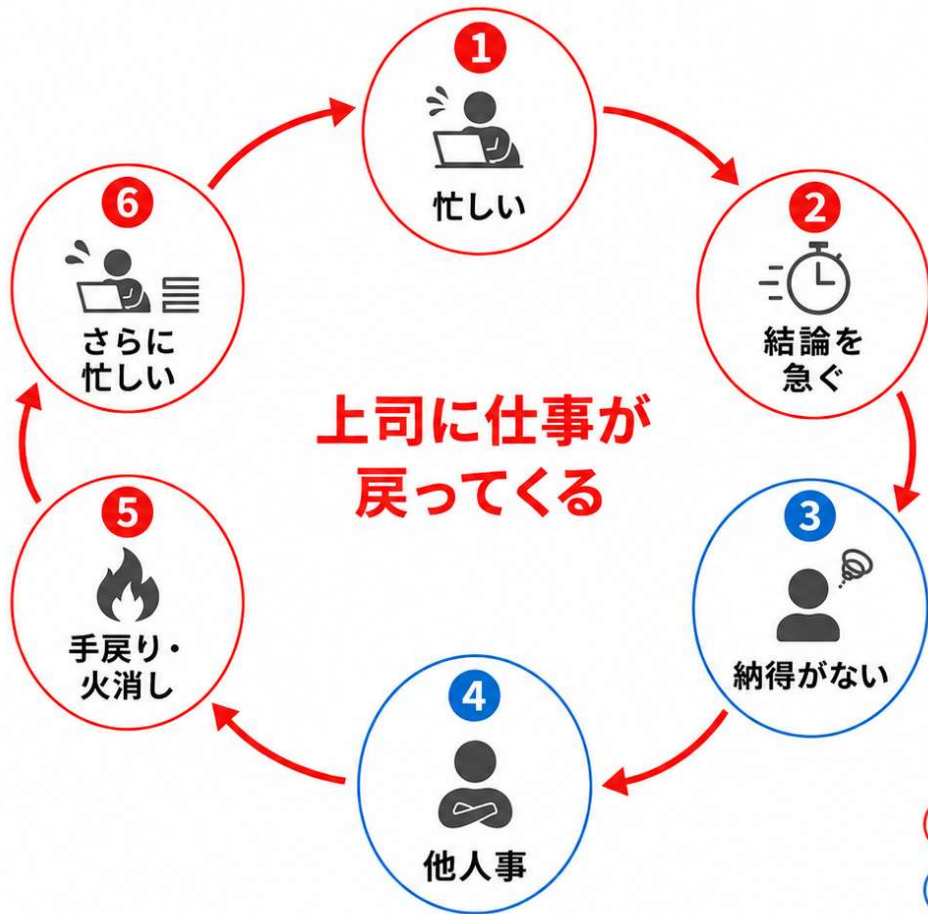
成長ループへ切り替える考え方

こんな場面、ありませんか？

- ▶ 会議で反論はないのに、動きが鈍い
- ▶ 教えたはずなのに、結局また自分がやる
- ▶ 急いでいるほど、上司が結論を出してしまう
- ▶ 最後は、上司が火消しに回る
- ▶ 任せたいけど、任せるのは不安

これらは別々の問題ではなく、
同じ負のループの中で起きているかもしれません。

上司目線の負のループ



忙しい上司ほど、早く進めるために**結論を急ぎます**。
しかし、部下が**納得しないまま**動くと、手戻りが増え、
結局また**上司が対応**することに。

早く進めるための**“結論先出し”**が、
結果として、上司の忙しさを増している。

なぜ、優秀な上司ほど答えを先に出してしまうのか？

- ・理由は「忙しいから」
- ・失敗させたくない、早く進めたい、**責任感**

技術者管理職の場合、**もう一つ大きな理由**がある。

上司自身も、技術者特性を持っている。

- ・答えが見えて、自信がある
- ・議論しても同じ結論になると思いがち
- ・それなら、先に言った方が早い

問題は、上司の答えが**間違っていることではない**
部下が自分で考えて**納得する過程を通らないこと**

技術者特性は、本来は強みです

技術者ならではの思考特性がある。

**理屈で納得しないと
動きにくい**

筋が通る理由があると、
行動の意味が見える

**本来、考えることが
好き**

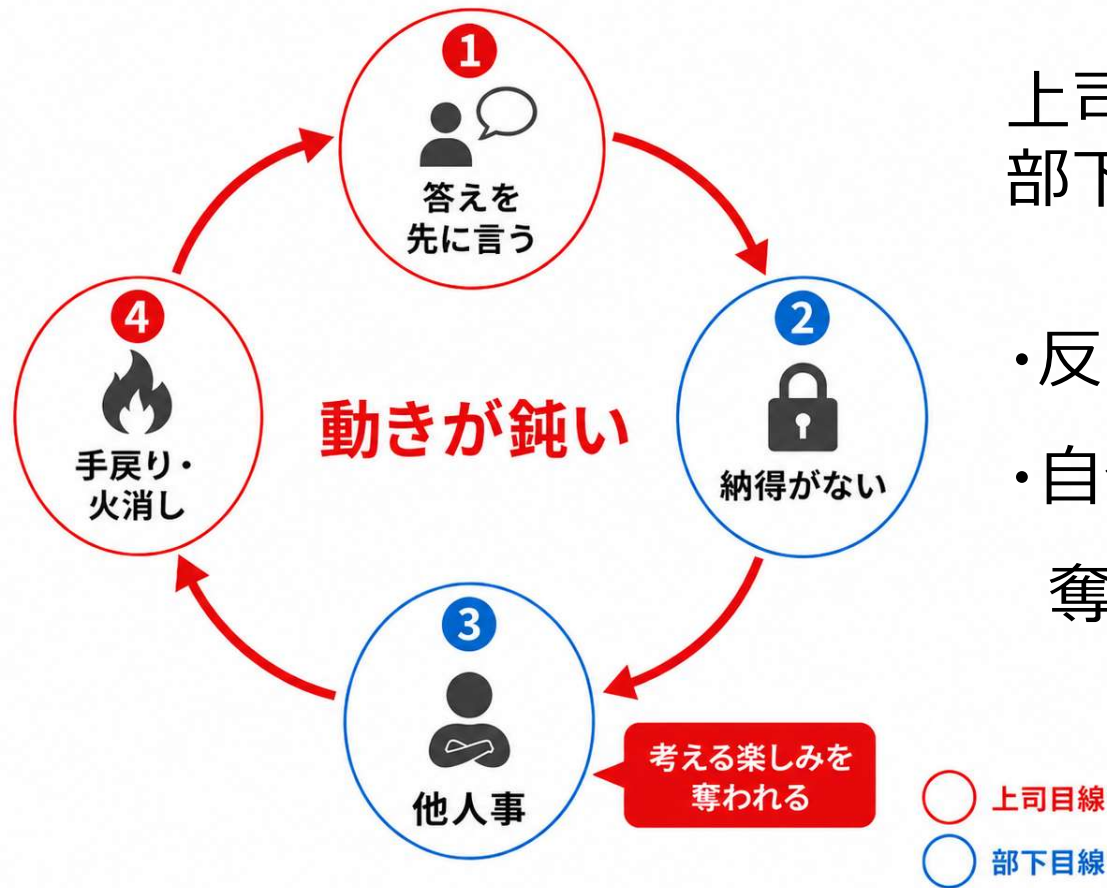
構造を見つけ、
解を探すことに面白さを感じる

**正解を1つと
捉えやすい**

精度を上げる力がある一方、
自分の答えを正解として置きやすい

この特性は、**部下だけでなく
上司の側にも表れます。**

部下目線の負のループ

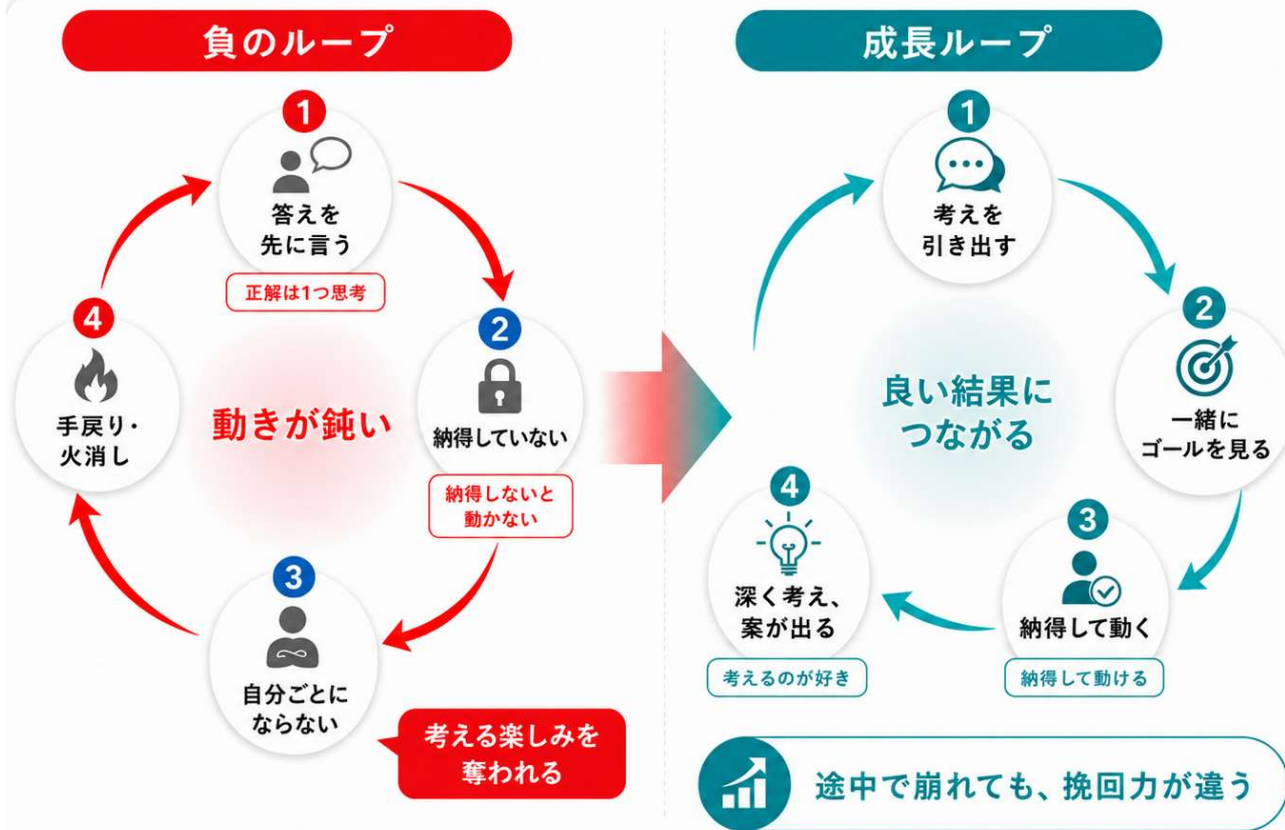


上司が先に答えを出すと、
部下は**納得しないまま**話を受け取りがち。

- ・反論がなくても、**納得しているとは限らない。**
- ・自分ごとにならず、“**考える楽しみ**”も奪われやすくなる。

部下が考えないのではなく、
考える前に止まっているのかもしれませんが。

抜け出す鍵は、成長ループへの切り替え



負のループを抜け出す鍵は、
部下に答えを渡すことではなく、

- “問い”で考えを引き出し、
- “器”で出てきた考えを受け止め
広げることです。

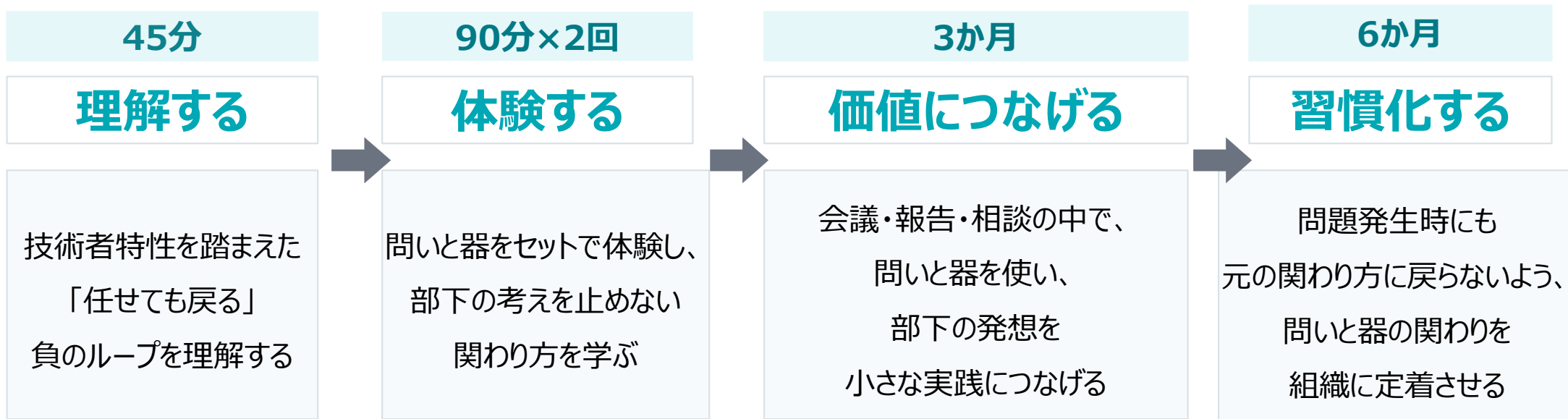
【技術者特性】

- 納得しないと動かない
- 考えるのが好き
- 正解は1つと捉えやすい

考える楽しみと、責任というやり甲斐を渡し
負のループ ➡ 成長ループへ

提供セミナー・研修

ThinkDoorでは、技術系職場で起きる「任せても戻る」負のループを整理し、問いと器の関わり方を通じて、部下の考えを引き出し、発想を価値につなげる支援を行います。



詳しく知りたい方へ

まずは45分セミナーで、自社の現場にある「任せても戻る」構造を整理するところから始められます。

<https://think-door.com/>

お問い合わせ：y-unno@think-door.com